

宮 若 市

# みやわが

## 市議会だより



宮田西中学校・笠松小学校・笠松幼稚園合同の運動会

平成19年度会計決算	P 2～P 3
審議結果報告	P 4
平成20年度補正予算	P 5～P 6
常任委員会報告	P 7～P 8
特別委員会報告	P 9
市長報告、意見書	P 10
一般質問	P 11～P 17
ちょっと一言	P 18

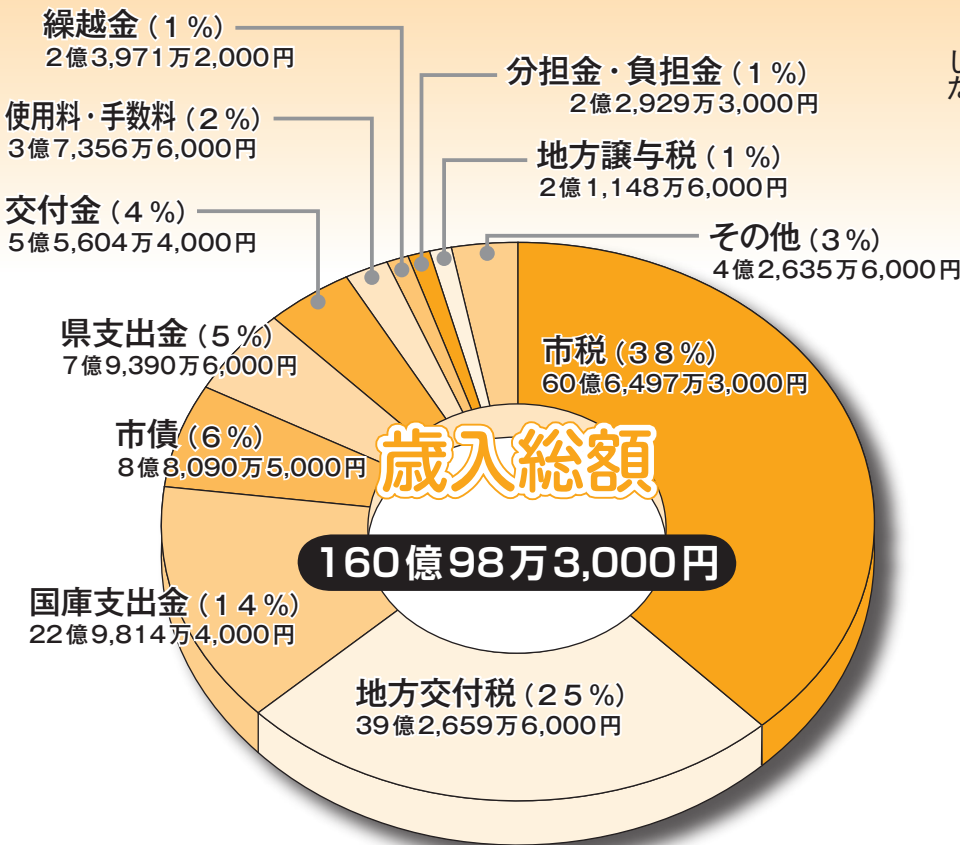
# 平成19年度会計決算

## 平成20年第4回（9月）定例会

平成20年第4回市議会定例会は、9月12日に招集され、9月30日までの19日間の会期で開催されました。

今回の議会で審議した議案は、平成19年度各会計決算や平成20年度各補正予算、議員提出議案等合わせて21件を審議しました。

また、9月25日・26日の2日間にわたって行われた一般質問では、13人の議員から15件の質問が出され、市政に関して市の考えを尋ねました。



## 特別委員長報告

吉野 英史

平成19年度の各会計歳入歳出決算については、9名（各常任委員会から3名選出）で構成された決算審査特別委員会の中で慎重審査を行いました。

9月18日に、審査に先立ち会計管理者から特別会計も含めた歳入歳出決算の概要について、全ての会計が黒字決算であることなどの説明がありました。

一般会計歳入歳出決算の審査では、詳細な説明を受け、質疑を行いました。

歳入については、市税の徴収率の状況、滞納者に対する市の対応等について質疑があり、徴収率については、90・6%で県の平均より1%程度良い、滞納者については法に則った対応を行っているなどの回答がありました。

次に歳出についてですが、補助金・助成金の状況、市長の交際費等について質疑があり、「補助金・助成金については、検討委員会を組織して削減を目指しているが、総額の抑制や一律カットなどの措置を行っていないので、総額を18年度と比較すると増加している。市長の交際費については、予算額350万円に対し、支出額は200万円程度であり、予算額についても旧宮田町時代に比較してかなり削減して計上している。」との説明が

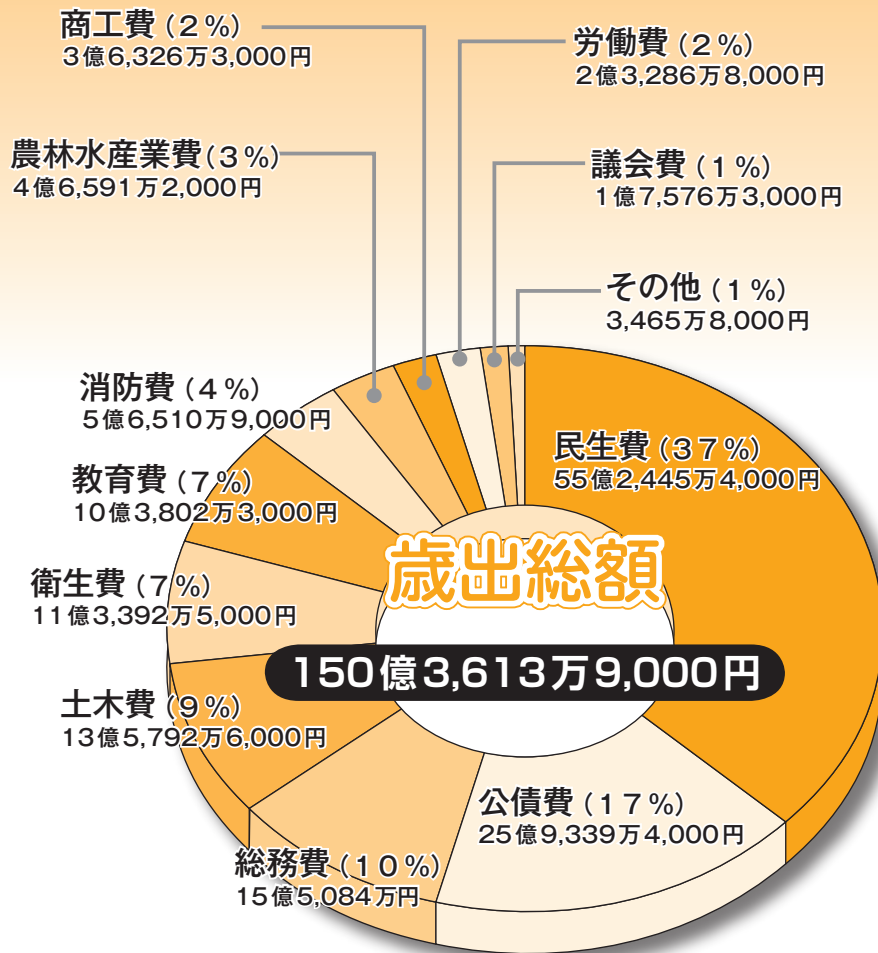
ありました。

この他一般会計については、各委員より多くの質疑がなされました。

翌19日には国民健康保険特別会計、老人保健特別会計、住宅新築資金等特別会計、簡易水道事業特別会計、公共下水道事業特別会計、吉川財産区特別会計について、それぞれ詳細説明を受け、これに対し各会計ごとに質疑とこれの終結を繰り返すことで審査を行いました。

続いて認定第2号の水道事業会計について審査を行いました。

水道課長の詳細説明を受け、その後、質疑を行いました。各委員より一般会計からの繰り入れの状況や、逆に水道事業の剰余金を一般会計に繰り出すこととはできないのかなどの質疑があり、一般会計からの繰入金については、収益的収入及び支出が他会計補助金として398万5,000円、資本的収入及び支出がこれも他会計補助金として387万4,000円あったとの回答がなされております。



(1,000円未満の金額は切り捨てて表示)

## 平成19年度 特別会計等決算

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	36億9,605万5,000円	35億7,792万8,000円
老人保健	43億5,048万6,000円	43億607万7,000円
住宅新築資金等	3,465万6,000円	2,829万9,000円
公共下水道	5億4,524万5,000円	5億3,590万6,000円
簡易水道	1億817万7,000円	1億718万5,000円
吉川財産区	300万1,000円	87万円

会計名	営業収益	営業費用
水道事業会計	4億6,746万7,000円	3億9,066万4,000円

(1,000円未満の金額は切り捨てて表示)

特別委員会での審査結果につきまして  
は、次のとおりです。

### ○認定第1号

■ 宮若市一般会計歳入歳出決算

■ 宮若市国民健康保険特別会計  
歳入歳出決算

■ 宮若市老人保健特別会計  
歳入歳出決算

■ 宮若市住宅新築資金等特別会計  
歳入歳出決算

■ 宮若市簡易水道事業特別会計  
歳入歳出決算

■ 宮若市公共下水道事業特別会計  
歳入歳出決算

■ 宮若市吉川財産区特別会計  
歳入歳出決算

■ 宮若市水道事業会計決算  
全員賛成で認定

### ○認定第2号

■ 宮若市老人保健特別会計  
全員賛成で認定

■ 宮若市住宅新築資金等特別会計  
全員賛成で認定

# 審 議 結 果 報 告

議案番号	議 案 名	審議結果	備考
諮問第2号	人権擁護委員の候補者の推薦について	原案推薦	
諮問第3号	人権擁護委員の候補者の推薦について	原案推薦	
諮問第4号	人権擁護委員の候補者の推薦について	原案推薦	
議員提出議案第9号	宮若市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	
議員提出議案第10号	国民健康保険財政への国庫負担割合を医療費総額の45%に戻すことを求める国への意見書	原案可決	
議案第34号	訴えの提起について	原案可決	
議案第35号	民事調停の申立てについて	原案可決	
議案第36号	宮若市安全で安心に暮らせるまちづくりに関する条例の制定について	原案可決	
議案第37号	宮若市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例の制定について	原案可決	
議案第38号	地方自治法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決	
議案第39号	宮若市認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	
議案第40号	工事請負契約の締結について(下口橋(交付金)上部工架設工事)	原案可決	
議案第41号	市道路線の廃止について(六郎丸・久保田線外1路線)	原案可決	
議案第42号	市道路線の認定について(磯光工業団地1号線外2路線)	原案可決	
議案第43号	平成20年度宮若市一般会計補正予算(第1号)	原案可決	賛成19
議案第44号	平成20年度宮若市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	
議案第45号	平成20年度宮若市老人保健特別会計補正予算(第1号)	原案可決	
議案第46号	平成20年度宮若市吉川財産区特別会計補正予算(第1号)	原案可決	
議案第28号	宮若市母子家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	賛成20
認定第1号	平成19年度宮若市一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定	賛成21
	平成19年度宮若市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について		
	平成19年度宮若市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について		
	平成19年度宮若市住宅新築資金等特別会計歳入歳出決算認定について		
	平成19年度宮若市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について		
	平成19年度宮若市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について		
認定第2号	平成19年度宮若市水道事業会計決算認定について	原案認定	
報告第4号	平成19年度財政健全化比率の報告について		
報告第5号	平成19年度資金不足比率の報告について		

請 願 及 び 陳 情		審議結果	備考
20年請願第1号	国民健康保険財政への国庫負担割合を医療費総額の45%に戻すことを求める意見書採択に関する請願	採 択	
20年請願第2号	福岡県単独公費医療費支給制度改正(重度障害者医療費の所得制限と自己負担の導入及び一人暮らしの寡婦に対する助成の廃止等)に対する意見書提出を求める請願	継続審査	

# 平成20年度 補正予算

## 一般会計

### (第1号)

今回の一般会計補正予算は、歳入歳出予算にそれぞれ3億5,930万9,000円を追加し、補正後の総額を158億1,470万4,000円とするものです。

本会議では、主に債務負担行為の「火葬炉設備工事」について質疑や意見が交わされました。

### 討論 (要旨)

#### ○原案に反対

##### ・茅野 勝

債務負担行為の中に「火葬炉設備工事」が入っており、反対する。

債務負担行為を行わなければならないというところの説明が不十分であったことと、また、このような予算は当初予算の中で計上すべきである。

さらに、債務負担行為で火葬炉設備工事を出さなければ火葬場建設が遅れるということにはならない。

##### ・中島 健三

火葬場建設は何十億規模となるものである。

それを債務負担行為、しかも補正予算という中で全体像が見えない中で火葬炉設備工事を通してくれというのは、行政の提案の仕方には疑問がある。これを通せばこの後の様々な事業が進んでしまう。これは当初予算で出されて十分論議して結論を出すべきである。

火葬場建設には賛成であるが、予算の決め方に疑問があるので反対する。

#### ○原案に賛成

##### ・和田 善久

火葬場建設を断念すれば、起債、国庫補助金合わせて10億5,000万円を返さなければならぬ。

事業費総額の大きさは問題であるが、火葬場建設は市民が望んでいるものである。

#### ◇原案に賛成の議員

塩川、松尾、中尾、谷口、関岡  
神谷、成國、寶部、藤嶋、篠原  
吉崎、栗上、松井、和田、藤春  
吉野、荒牧、弓削田、間地

#### ◇原案に反対の議員

中島、川口、野田、茅野



火葬場予定地

## 特別会計

### ◆国民健康保険特別会計補正予算 (第1号)

歳入歳出それぞれ52万1,000円を追加するものです。補正の内容は、調定額の決定及び納付金、補助金額の決定等によるものです。

### ◆老人保健特別会計補正予算 (第1号)

補正の内容は、社会保険診療報酬支払基金への平成19年度老人保健交付金の返還が発生したことによるものです。

### ◆吉川財産区特別会計補正予算 (第1号)

歳入歳出それぞれ283万9,000円を追加するものです。補正の内容は、九州電力の送電線鉄塔新設工事のために締結している賃貸借契約に基づいて、九州電力から借地料及び補償料が支払われることによるものです。

## 委員長報告

### ◆総務委員会

中島 健三

歳入全般、地方債、及び歳出のうち総務費、民生費の一部について審査しました。

主な内容としては、歳入では地方交付税の減額等、歳出では県道改築事業負担金等の費用が計上されました。

債務負担行為については、今後建設を予定している火葬場の火葬炉設備に関するものです。

地方債については、限度額の追加や変更に伴うものです。

総務委員会の中では、特に債務負担行為の「火葬炉設備工事」について質疑が集中しました。

執行部に対し、火葬場建設に係る今までの経緯や今後の計画について説明を求めました。

### 賛成多数で可決

また、国民健康保険特別会計、老人保健特別会計及び吉川財産区特別会計についても審査しました。

### 3議案ともに全員賛成で可決

## ◆教育民生委員会 野田 好記

歳出のうち、民生費、衛生費、教育費について審査しました。

民生費について主なものは、今年4月から後期高齢者医療保険料が年金から特別徴収できるようになったことに伴い、年金の支払い者と保険者間の調整データを増額し、また扶助費で日常生活用具給付費を追加するものです。

衛生費については、宮田団地の共同排水処理施設移転による工事請負費を追加するものです。

また、教育費では県教育委員会からの委託事業分を増額し、備品購入費を減額するものです。

### 全員賛成で可決

## ◆産業建設委員会 松尾 幸主

一般会計補正予算(第1号)中、歳出の労働費、農林水産業費、商工費、土木費、災害復旧費について審査しました。

労働費では、1項3目 旧特定地域開発就労事業従事者暫定就労事業費について、1, 110万円の増額補正をしていますが、内容は上期事業費の確定と下期事業箇所の変更による測量調査委託料590万円の減額と、工事請負費1, 700万円の増額です。

農林水産業費では、1項2目 農業総務費について、81万6, 000円の増額補正をしていますが、内容は平成19年度からの継続事業の『農地・水・環境保全向上活動支援事業』において新たに稲光・野中の2地区が取り組むため、負担金を増額しました。

書類や写真管理など、事務手続きが当初面倒との意見が出ていましたが、担当職員が指導したり大分緩和されたとのことで、19年度から合わせて14地区となっています。

交付金の使途実績としては、消耗品として草刈機の燃料や替え刃、種子・肥料代が挙げられますが、ダンプ・バックホウ等の重機やトラクター等の農機、また個人所有の刈払い機のリース代もあります。管理用のデジタルカメラは備品と

して購入でき、パソコン・プリンターのリースも可能とのことでした。他に、U字溝等の施設補修にも使われています。交付金は10アル当たり4, 400円で

商工費では、1項4目 企業立地対策費について、コミュニティ助成事業助成金として110万円の増額補正をしています。

これまで立地企業と協働し、地域一体となった植樹やクリーン作戦などの環境美化や交通マナーアップ等の取り組みを行っている笠松地区自治会が、市有地の空き用地を利用して地域の憩いの場となる公園づくりを計画しています。

約8, 000㎡と広大な敷地であるため、手押し式の草刈機の購入を目的として、宝くじ普及広報事業の一般コミュニティ助成事業の採択申請が出されていましたが、助成の決定が今年度になったため、今回計上したとのこと。

土木費では、2項1目 道路橋梁総務費において7, 434万円の増額補正をしており、内容は、県道改築事業8箇所の負担金です。

2目 道路維持費では、工事材料費131万7, 000円を追加しています。内容は、本年5月末から6月中旬にかけて盗難にあった、道路側溝鉄蓋69枚の復旧の材料費です。

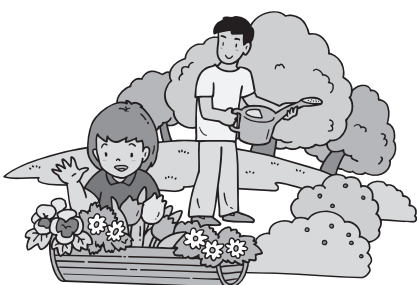
3項1目 河川総務費では、県営事業負担金120万円が増額補正されましたが、これは砂防関係事業、急傾斜地崩壊対策事業、合わせて3箇所分です。

災害復旧費では、2項1目 農林水産業施設補助災害復旧費で300万円の増額補正をしていますが、これは6月19日(22日)の梅雨前線豪雨により発生した災害で、補助対象事業として申請する農地1箇所、農業施設1箇所の工事請負費と補助率増高申請業務委託料です。

また、2目 農林水産業施設単独災害復旧費では、補助対象外の農業施設災害3箇所分の工事請負費140万円を計上しています。

3項2目 公共土木施設単独災害復旧費では、補助対象外の7箇所分275万円を追加補正しています。

### 全員賛成で可決



# 常任委員会報告



中島 健三

◆議案第28号 宮若市母子家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について

6月議会の時に継続審査となっていた議案です。

改正項目のうち、一人暮らしの寡婦について、平成20年10月から1年間は母子と同じ(県の措置では入院が1万2,000円が上限で通院が月1,000円を、通院は800円、入院は3,500円)とするという市独自の案が提案されました。

賛成多数で可決

◆議案第36号 宮若市安全で安心して暮らせるまちづくりに関する条例の制定について

宮若市民が生命、身体又は財産に対して危害を受ける不安を覚えることなく、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、市、市民、地域活動団体の責務を明確にするとともに、安全で安心なまちづくりに関する基本的事項を定め

た条例を制定するものです。

全員賛成で可決

◆議案第37号 宮若市公の施設に係る指定管理者の指定の手續等に関する条例の制定について

現在、各施設の設定条例ごとに規定している指定手續の統一を図るため、指定管理者制度を導入する全ての公の施設に適用する手續条例を新たに制定するものです。

なお、附則において、個別条例ごとに定めている指定管理者の指定手續に関する規定を削除するものです。

指定管理者を導入して、今回の条例の対象となる施設は次のとおりです。

- ・宮若市福祉センター
- ・宮若市生活センター
- ・宮若市農畜産物処理加工施設
- ・宮若市産地形成促進施設

- ・宮若市共同育苗施設

- ・宮若市いこいの里千石

全員賛成で可決

◆議案第38号 地方自治法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

平成20年6月に地方自治法の一部が改正されたことに伴い、次の関係条例について、文言の整理など所要の改正を行う

ものです。

- ・宮若市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例
- ・宮若市特別職報酬等審議会条例
- ・宮若市議会政務調査費の交付に関する条例
- ・宮若市政治倫理条例

全員賛成で可決

◆議案第39号 宮若市認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について

地縁団体における印鑑を受けることができる者及び職権による登録抹消については、民法の規定を準用していましたが、民法による規定が削除され、新たに地方自治法により規定されることとなったため、条例の一部改正を行うものです。

全員賛成で可決

◆請願第2号 福岡県単独公費医療費支給制度改正(重度障害者医療費の所得制限と自己負担の導入及び一人暮らしの寡婦に対する助成の廃止等)に対する意見書提出を求める請願

福岡県に対し、

①「重度心身障害者医療費助成(支給)

制度」改正を中止・撤回すること。

②一人暮らしの寡婦に対する助成の廃止を中止・撤回すること。

③障害当事者・家族の医療に係る実態調査を実施すること。

を要請する意見書採択を求めるものです。

結論に達せず継続審査



委員会

松尾 幸主

◆議案第34号 訴えの提起について

長期にわたり家賃を滞納している市営住宅入居者に対し、住宅の明渡し及び家賃の請求の訴えを提起するものです。

全員賛成で可決

◆議案第35号 民事調停の申立てについて

市営住宅の家賃滞納月数が3ヶ月以上の20名に対し、内容証明郵便を送付し、13名が完納、これに応じない7名が申し立ての対象です。

全員賛成で可決

◆議案第40号 工事請負契約の締結について

下口橋上部工架設工事を施工するため、指名競争入札により工事請負人を定め、契約を締結するに当たり、議会の議決を求めるものです。

下口・尾勝線道路改良事業は、平成14年度から地方道路整備臨時交付金事業及び地方特定道路整備事業で、年次的に整備を行ってまいります。下口橋に関しては、平成16年度に旧橋の一部撤去及び左岸側橋脚の築造、17年度は両町の合併時で行わず、18年度は旧橋の残り部分の撤去及び国土交通省に委託した左岸側橋台の築造、19年度は同じく国土交通省に委託した右岸側橋脚及び橋台の築造で、本年度上部工架設に着手します。

橋の構造は、橋長11.1m、車道7m、両側歩道3.5mの幅員14mで、工期は平成20年10月1日から21年3月31日です。

全員賛成で可決



建設中の下口橋

◆議案第41号 市道路線の廃止について

廃止路線は上有木地区の六郎丸・久保田線延長187.6mと、久保田・平山線延長686.5mです。

ともに、農林水産省のふるさと農道緊急整備事業を活用して、農道として舗装整備します。この路線は、昭和46年の構造改革事業で農地を整備したときに整備した道路で、今回路肩幅員4mの舗装を行います。

全員賛成で可決



六郎丸・久保田線

◆議案第42号 市道路線の認定について

対象路線は、磯光工業団地1号線延長707.00m、磯光工業団地2号線延長803.80m、平山線延長94.00mの3路線です。

磯光工業団地1号線・2号線については、工業団地造成工事の完了に伴い新たに市道認定するものです。

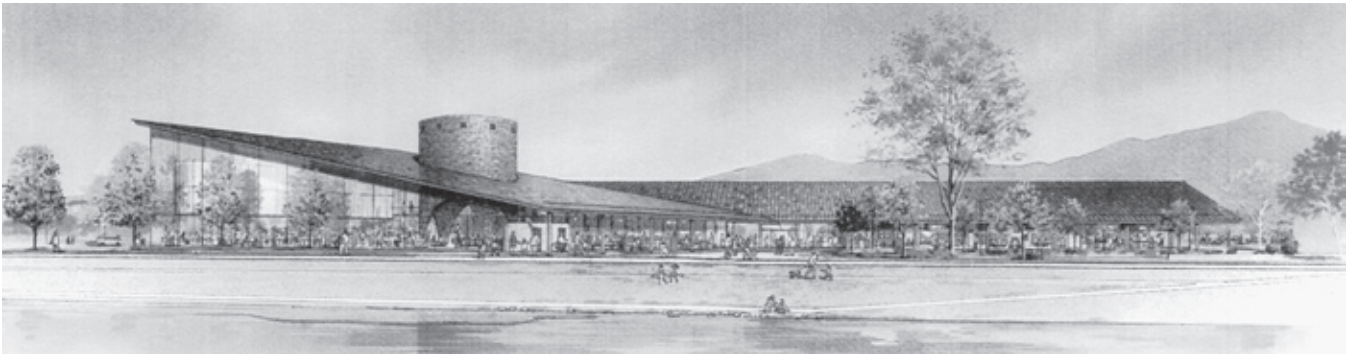
平山線については、前の上有木地区の市道路線の廃止箇所のうち、民家一軒への取り付け道路について再認定するものです。

全員賛成で可決



磯光工業団地の道路





「図書館を核とする生涯学習拠点施設」の外観イメージ図(案)

## 「図書館を核とする生涯学習拠点施設」及び 「若宮コミュニティセンター」建設調査特別 委員会報告

茅野  
勝

本特別委員会は、平成19年12月議会において、議会運営委員会の委員全員が提出者と賛成者に名を連ねて発議され、賛成多数で設置をされております。

その設置の理由は、建設が予定されている「図書館」と「若宮コミュニティセンター」が、将来においても宮若市の市民が集う拠点施設となるよう、議会の議員も調査研究することを目的とするものであります。以後、この設置目的に沿って全部で9回の特別委員会の開催と、この他に図書館建設の先進事例の視察を2施設、委員会が公式に実施することができ、市内の各団体からの要望についても聞き取りを行っております。

この特別委員会の調査研究は、「図書館」と「若宮コミュニティセンター」の設計に対する考え方や施設の内容について各委員から質問通告を行い、これが決定された経緯やその意思形成について、

執行部が回答を行う形式で会議の運営がなされております。

こうした経緯を経て、最終となった8月28日の委員会において、特別委員会の調査研究でまとめられた結果を、特別委員会の正副委員長名で、宮若市議会の「図書館」と「若宮コミュニティセンター」建設に対する要望として、市長に提出することを決定しております。

その概要は次のとおりです。

### 「図書館を核とする生涯学習拠点施設」

- ・ 建設用地に対する建物の配置
- ・ 円筒構造物の採用の可否と雨漏り対策
- ・ 太陽光の利用等省エネルギーの採用
- ・ 年間の施設維持管理費の節減

### 「若宮コミュニティセンター」

- ・ 省エネルギー対策
- について、十分検討考慮を願いたい。



「若宮コミュニティセンター」の外観イメージ図(案)

**1** 福岡県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の一部改正について

今回の条例改正は、国による制度の見直しとして実施される低所得者の保険料軽減のために行われたものです。

改正の内容ですが、均等割が7割軽減される者の軽減割合を8・5割に拡大するとともに、基礎控除後の総所得金額が58万円以下の者の所得割額を一律50%軽減するものです。

なお、均等割額の軽減については7月4日に条例改正の専決処分がなされ、所得割額の軽減については7月28日の議会で可決され、8月から実施されています。

**2** 宮若市行財政改革実施計画(集中改革プラン)に基づく取り組みについて

宮若市行財政改革集中改革プランでは、平成18年度からの5年間で、総額32億90万円の財政効果を目指して掲げており、平成19年度については4億7,738万円の目標額に対して、10億3,170万8,000円の実績額となっています。

主な取り組みの内容ですが、職員の定員管理や給与の適正化、収入役の廃止などによる「行政運営の効率化」で5億1,933万4,000円、法人市民税の税率の改正、市税等の収納率の向上、滞納対策の強化などによる「健全な財政基盤の確立」で5億357万9,000円、公共施設の効率的な運用などによる「効率的な住民サービスの向上」で879万5,000円となっています。

**3** 宮若市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の策定について

本計画は平成11年度に当時の宮田町外三町じん芥処理施設組合において作成していましたが、本市の発足に伴い、当該組合の構成市町が変更になったことから見直しを行ったものです。

本計画は、目標年次を平成29年度とする基本計画で、全体を5章で構成し、本市のごみ処理の現状と課題を整理した上で、目標達成のための処理計画を定めています。



一般廃棄物処理基本計画書

**4** 磯光工業団地造成工事の完了について

平成19年8月より造成工事に着手していましたが、磯光工業団地については、本年7月末で工事が完了しています。

本団地の概要ですが、造成面積約24・8haの内、分譲面積は7区画で約18・9haとなっており、分譲価格は1㎡当たり1万5,500円となることが予定されています。

既に分譲を開始し、数社の企業が現地の視察等に訪れているとのことですが、立地が決定するま



磯光工業団地

では至っていません。なお、本団地に付帯する道路等の施設は本市が移管を受けることとなっており、移管後は本市で管理を行っていきます。

**5** 民事調停の報告について

平成20年3月定例会において議決を得ました市営住宅入居者のうち、滞納月数3か月以上で、納付不履行の者11名を対象とする民事調停については、8名が完納又は分割納付不履行分を納付されたので、残る3名について調停が成立していません。

9月議会で可決された

意見書

国民健康保険財政への国庫負担割合を医療費総額の45%に戻すことを求める国への意見書

# 一般質問

問

## 西山リーダー基地の市民開放の推進について



篠原 茂

か。現地の確認はされたか。

答 市長

現地確認いたしました。眺望はすばらしいものであります。

西山リーダー基地道路の通行条件は。

答 市長

一般道路として開放はされていませんが、森林の保育・管理・間伐材の搬出等は認可されています。



西山からの眺め

市民開放への問題点は。

答 市長

西山リーダー基地は、昭和46年に開設された陸上自衛隊西山通信中継訓練所であり、防衛施設と

して原則、市民開放は一切できないこととなっております。したがって、当施設の利用は困難です。

展望自然公園への取り組みは。

答 市長

前項で回答しました事情もございますので、西山リーダー基地を利用した展望自然公園への取り組みは、不可能です。

問

## 地球温暖化対策について



栗上 光則

地球温暖化対策のため、省エネなどの環境配慮(エコ)につながる緑のカーテン(植物を建築物の外側に生育させ、建築物の温度上昇を抑える省エネルギー手法)を市民ベース省エネルギー運動として取り組んでどうか。

答 市長

平成10年10月9日に地球温暖化対策の推進に関する法律が公布され、国や地方公共団体、事業者、国民が一体となって地球温暖化対策に取り組むことが求められています。この法律では、都道府県及び市町村に対して、

国が定めた京都議定書目標達成計画に即して、第20条でその地域の地球温暖化対策に関する「地域推進計画」の策定を努力規定として定め、第21条で市役所庁舎や公共施設および市が実施する事業における温暖化対策に関する「実行計画」の策定を義務規定として定めているところ。このことにより、国及び地方公共団体では計画の策定やさまざまな取り組みが行なわれているところ。かというのですが、緑のカーテンについても地球温暖化対策の具体的手法の一つであると考えています。

市としては、実行計画については、平成21年度までに策定をし、地域推進計画については、今後検討をしていきたいと考えています。ご質問の内容については、市民ベースで取り組んではということであり、実行計画策定の中で、庁舎や公の施設を使って実施することが可能かどうか検討していきたいと考えています。

緑のカーテン(植物を建築物の外側に生育させ、建築物の温度上昇を抑える省エネルギー手法)を市民ベースで取り組んではどうか。

このことにより、国及び地方公共団体では計画の策定やさまざまな取り組みが行なわれているところ。かというのですが、緑のカーテンについても地球温暖化対策の具体的手法の一つであると考えています。



## 問 集中豪雨対策として 市内河川の総点検を



吉野 英史

**答 市長**  
平成13年4月土砂災害防止法が施行されました。それに伴い福岡県では、住民の皆様の生命及び資産を守るため、被害を受けるおそれのある場所や、斜面や溪流の地形、土地の利用状況などについて、県下全市町村の調査を行うこととなっています。

山口川では堆積した土砂が農業用水路及び施設を塞ぎ除去作業は困難を極め、伸びた葦は道路の高さまでの所もあり、河川区域内に木があり大きくなっている。

自治会長会の陳情に進展はないが、対策は考えているのか。  
また、河川管理者との協議内容は。

**答 市長**

山口川をはじめ県営河川の様子は、ご指摘のとおりです。

施設管理者である国土交通省遠賀川河川事務所と実施しています合同巡視や、福岡県直方土木事

務所と市で行います市町連絡協議会等において、地域の要望を踏まえ、県に対して整備促進の要望をしています。

現在、県の計画では、山口川外4河川の整備を年次的に実施して頂いているところとです。

土砂災害防止調査の調査内容は、併せて河川の調査、整備について考えはあるのか。



山口川

また、市管理の河川につきましては、本年度から計画しています準用河川指定の見直しに併せて、現地調査を行うこととされています。

本市の給食の食材は安心・安全であるのか。納入業者はどこか。



中尾八ギ子

**答 教育長**

本市の給食の食材については、業者から提出される品質規格書に基づき、安全には万全を期しています。また、主食のご飯につきましては、JA直轄産の地元米を使用しています。

給食食材の地元調達はどのくらいあるのか。

**答 教育長**

米については、JA直轄産を使用し、他の農産物の地産地消率は、重量

## 問 本市の給食について

ベースで22%であります。

食育の取り組みは。

**答 教育長**

学校給食を中心に、給食の時間を始め、家庭科や生活科、保健体育科等の教科と総合的な学習の時間や学級活動等において食育指導がされています。

さらに毎月、食育だよりや給食だよりを発行し保護者の方々にも食育への啓発を行なっています。

給食費の滞納対策について。

**答 教育長**

滞納の保護者に対して、学校から文書や電話での納入指導をお願いしています。また、納入指導に際しては、保護者については、学校と学校給食課で

児童・生徒には十分配慮しながら、保護者へ直接指導を行っています。

教育委員会より報告

学校給食で使用している卵加工食品について、過去の取引納入業者より事故米混入に関する連絡がありました。

その取引業者によると平成十六年、十七年に取引メーカーの食品会社が製造した一部の加工食品に「事故米」が含まれていた可能性があるとということ。現在、流通している食品には事故米混入の可能性はないというところですが、教育委員会としては、今後も継続して学校給食食品の安全性に万全の注意を払うよう関係取引会社に対して、周知を図ってまいります。

# 問 生活保護行政のあり方について



藤嶋 厚

ある人へは申請書類を必ず渡すべきと思うが。

**答 市長**

生活保護制度の運用にあたっては、保護の相談の段階から、所内に配置した面接相談員がきめ細かな面接相談に努めている。

るところです。その際、法律上認められた保護の申請権を侵害しないことは言うまでもなく、申請権を侵害していると疑われるような行為も厳に慎むべきものであり、保護申請の意志が確認された者に対しては、速やかに保護申請書を交付するとともに申請手続きについての助言等を行っています。

# 問 子どもたちが本と楽しく向き合うため、学校や行政のできることについて



中島 健三

学校図書司書の役割、また、配置の実態は。

**答 教育長**

学校図書司書は、司書教諭と連携し、学校の教育活動の中で、児童生徒の健全な教養の育成等、重要な役割を担っています。

職員採用の実態はどうなっているか。

**答 市長**

学力判定を行う一次試験については、財団法人日本人事試験研究センターに試験問題の提供及びその採点結果通知までを委託しています。

宮田地区に図書館が、若宮地区にコミュニティセンター（図書室）ができるが、市内の小中学校とどのような連携を持つ計画か。

**答 教育長**

図書館を核とする生涯学習拠点施設と小中学校と地域イントラネットの活用を考えています。

具体的な連携については、図書館本館で所有する蔵書や視聴覚資料の検索ができるシステムを構築し、児童生徒が図書館を利用しやすい環境を整えたいと考えています。

**問** 職員採用のあり方、又、その後の研修その他を問う。

現在、宮若市においては、宮田南小学校に1名の司書教諭を配置しています。

また、若宮中学校に市雇用の学校図書司書を1名配置し、その他の小中学校については、校務分掌の中で図書館担当教諭を選任し対応しています。

この一次試験の結果を基に、面接と一定の課題に対する作文による二次試験を行い、職務遂行の能力の実証ができた者を採用予定者として決定しています。

**障害者の雇用は。**

**答 市長**

本市では障害者の特別雇用等による採用試験を実施していませんが、障害者の雇用の促進等に関する法律で地方公共団体に定められている法定雇用率は達成しています。

私のもとに寄せられたい福祉事務所の対応について、市民の生活保護申請権が抑制されている状況があると判断します。

2回3回と福祉事務所を訪問したが申請用紙をもらえなかったという話も聞きました。

さらに民生委員同行でさえ、申請できず帰宅された方の話を直接聞きました。

市民の生活保護申請権は憲法25条のもと当然尊重されるべきである。

福祉事務所来所者の中で生活保護申請の意志がある人に対しては最初に申請権があることを必ず告知し、そして、意志の



# 問 宮若市の防災計画について

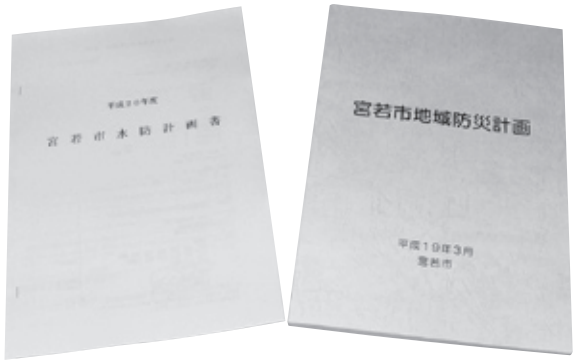


谷口 重隆

防災体制の充実を図られているのか。

答 市長

水防計画書や地域防災計画において、初期配備や災害警戒本部ならびに水防本部や災害対策本部設置における職員配備や組織構成を構築するとともに、関係防災機関や事業者等との連携を図っているところですよ。



宮若市地域防災計画と水防計画書

業者との連携はどのようになっているのか。

答 総務課長

幅広い業種にわたってありますので、対応していただく業者等には説明会等を行ってまいります。

# 問 総合評価方式の入札について



荒牧 基三

総合評価方式による入札とはどういう制度であるのか。

答 市長

一般論として、公共工事については、公共投資が減少している中で、価格競争が激化し、著しい低価格による入札やくじ引きによる落札者の決定が増加して、このような事態から、技術力が高くない建設業者が施工し、公共工事の品質の低下を招くことが懸念され、発注者が建設業者の技術能力を適切に審査し、価格と品質で総合的に優れた調達を実現することが求められています。

総合評価方式とは、価格だけで評価してしました従来の落札方式と異なり、品質を高めるため

の新しい技術やノウハウなど、価格に加えて価格以外の要素を含めて総合的に評価する新しい落札方式のことで、価格と品質の両方を評価する事によって、総合的に優れた調達を行うことが可能となるものです。



## 問 財政計画について



松井 政信

わが市の歳入は大幅な減収が予想されるが、将来見込みを伺う。

答 市長

個人市民税所得割や法人市民税法人税割については、景気の変動に直接影響を受ける税です。法人市民税は、19年度に17億円を超え過去最高を記録しましたが、本年度予算では8億円程度を見込み、大きく減少することとなります。

次年度、景気変動の影響を受けませんが、今のところ予想できません。

税収が大きく減少する中、総合計画による大型

とした生涯学習拠点施設のデザイン(円形の煙突状の建物形状)はその後解決できたのか。

答 社会教育課長

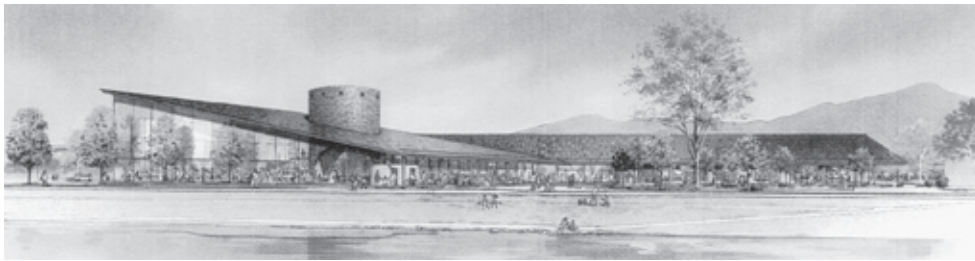
廃止を含め検討中です。

投資事業(図書館を核とした生涯学習拠点施設を始めコミセン・火葬場・多目的広場・学校再編による施設整備)は計画され一部は実行されているが将来に不安が懸念される、そこで既存施設を有効に活用して、計画の縮減も見直しを今、再考すべきではないか。

答 市長

19年度に策定をおこなった総合計画において重点的に取り組むプロジェクトとして位置付けの事業です。実施にあたっては、経済・社会情勢の変化及び税収等の動向を勘案しながら事業経費の縮減を図りながら事業を実施していきます。

事業のひとつで建設費や維持管理費の増減を大きく左右する図書館を核



図書館を核とする生涯学習拠点施設のイメージ図(案)

## 問 消防団員の災害救助活動に対する費用弁償について



和田 善久

規定では1回の出勤費用弁償は2,000円。39ある審議会の費用弁償も2,000円だが、机の前に座って行う会議と同額であり、消防団員への処遇が役割に相応しいものになっているのか伺う。

答 市長

消防団員の年額報酬や費用弁償については、公務災害補償や退職報償金などと同様に全国的な統一基準が定められていないことから、市町村の規模や地域事情、これまでに至る経緯などから若干の差異があり、今後調査検討していきたいと考えています。

## 問 特定健診について

4月から各医療機関関係者には40〜74歳の加入者に対する特定健診(メタボ検診)の実施と生活習慣病予防に向けた特定保健指導が義務づけられたことにより、平成24年度には受診率を65%に、27年度には80%に上げなければ国はペナルティを課す計画である。

受診券の必要性も合わせて市民にも受診の協力をお願いすべきではないか。

答 市長

4月から医療保険者に對して、特定健康審査、特定保健指導を実施することが義務付けられ、宮若市国民健康保険では6月に受診券を発行し、受

診案内を行っています。特定健康診査については、検診業者委託で実施する集団健診と医療機関健診をお願いしており、宮若市内では、13医療機関で実施しています。市国民健康保険では、特定健康診査等実施計画を作成し、平成20年度の受診率目標を11%とし、24年度に国が示している65%の受診率となるよう計画しています。

特定健康診査については、生活習慣病の予防や早期発見を目的に行われるもので、できるだけ多くの方に受診していただくよう、市広報等での周知を行うとともに、未受診者の方については、受診方法、受診機関等のお知らせを、個別に案内することとしています。

## 問 土地の取得方法について



茅野 勝

市からの委託業務を受託後、宮若市土地開発公社で予め土地取得計画を立て、予算の位置付けと

もに理事会の承認を得て実施されることとなります。

### 答 市長

土地の取得につきましては、取得金額や面積で取得する手続について違いがありますが、単に取得すると言う点に関しましては、予算措置を前提として、宮若市が直接当該土地の地権者と契約を締結して取得する「直買」の方法と、公有地の拡大の推進に関する法律の規定に基づいて設立された宮若市土地開発公社が当該土地の先行取得を行い、その後、本市が買戻しを行うことで取得する二通りの方法があります。

なお、土地開発公社経由で取得を行う場合は、



## 問 市内各地域におけるインターネット環境整備について



弓削田 敬

策を調査・研究し、推進していきたいと考えています。

3点目のブロードバンド環境の整備については、これからの定住化促進や更なる企業誘致に必要不可欠であるため、本年度、地域インターネット活用計画を策定するためのプロジェクトチームを立ち上げております。

プロジェクトチームを立ち上げたと答えられたが、目標開通時期はいつなのか。

### 答 総務企画部長

3世帯に1世帯がブロードバンド環境が整ったといわれる日本において、もし本市のIT環境整備がこれ以上遅れれば、更なる市発展のマイナスイメージであると考えられる。現在、市内のインターネット環境整備状況はどうなっているのか。また、インターネットを利用してラストワンマイルは可能か。さらにインターネット環境整備に對しての市長の考えを伺いたい。

### 答 市長

光接続は龍徳川東、百合野団地、白百合団地及び鶴田尾勝の一部におい

光接続は龍徳川東、百合野団地、白百合団地及び鶴田尾勝の一部におい

光接続は龍徳川東、百合野団地、白百合団地及び鶴田尾勝の一部におい



## 問

# 本市の地球温暖化防止対策と省エネへの取り組みについて



関岡 精一

として、7月から9月までのクールビズや冷房温度の28度設定、昼休みの消灯などの取り組みであります。

本市の温室効果ガス抑制等の実行計画はどのようなものか。

地球温暖化防止のため市民や事業者に対し、どのような施策が講じられているのか。

## 答 市長

実行計画につきましては、平成21年度までに実行計画を策定することとしています。

市の省エネへの取り組み状況はどのようなものか。

## 答 市長

本市は実行計画の策定をしておりますが、いくつかの取り組みをいたしております。

内容としては、市役所庁舎内での取り組み



## 答 市長

市としては、市のホームページでの情報の提供や国・県からきたパンフレット等の配布程度であります。

なお、実行計画は平成21年度までに策定を行います。地域推進計画については、今後検討をしていくこととしています。



## 市議会を傍聴してみませんか

次の定例会は12月4日(木)からの予定です。

本会議・各常任委員会等の日程につきましては、日程が決まり次第、宮若市のホームページ、宮若市役所本庁及び若宮総合支所玄関前に掲示します。

## 市議会会議録は閲覧ができます。

- 平成20年第3回(6月)定例会の会議録ができました。会議録は、議会事務局及び宮若市ホームページから閲覧することができます。

(ホームページの第3回の会議録は、準備が整い次第掲示します。)



宮若市のホームページアドレス

<http://www.city.miyawaka.lg.jp/>

# 中学生の



## ちよつと一言

9月25日、26日に宮田中学校3年生の皆さんが議会の傍聴に来られました。

今回はその時の生徒さんの感想や意見を載せてみました。

◆ 40%くらいしか解らなかつた。

◆ みんな一人ひとりが意見を出し合つて宮若市のために真剣にしている所が、今日、一番印象に残り、自分が思つていた議会と全然違う事に気が付きました。議会が本当に大切なことだとわかりました。

◆ 私たちが残している給食も議会で話しているんだなと思つたから、たくさん食べて残さないようにしたい。

◆ 全体的に分かりにくい、難しいものもあるが、話が長く、結局何が言いたいかわからない。もっと具体例など、自分の意見を簡潔に述べるべき。

◆ 言っていることはとてもいいのに、声が小さくて、ところどころしか聞こえなかつた。堂々と自分の意見を述べるのが大事だということも学んだ。機会があれば、また、傍聴したい。

◆ 初めての体験でした。緊張もしましたが、すごくよい経験が出来ました。また、議員の皆さんの仕事の大変だということもわかりました。今回、傍聴したことを生活にも活かしたいと思います。

◆ 内容が難しかった。議員さんの言っていること

◆ なんかすこかつた。



議会傍聴の風景

編	集
後	記

◆ 今回の世界はどうなつているのだろうか？

◆ 地球温暖化現象、アメリカのサブプライム問題、原油の高騰そして日本では食の安全問題、鰻・ギョウザそして日本人の主食である「米」の汚染。

◆ 政治では「年金」、「後期高齢者医療」問題等色々考えさせられる。

◆ 今一歩立ち止まって身の回りを考え直す時期に来ているのではないだろうかと思う今日この頃だ・・・。

◆ 宮若市の市花の、彼岸花は今年も忘れず真つ赤な花を犬鳴川河川公園の堤防一杯に咲かせている。

茅野 勝

